



<3学期がスタート>

1月8日(火)に始業式を行い、3学期が始まりました。冬休み中は事故等もなく、生徒全員が3学期を迎えることができました。

平成最後の年末年始となり、テレビなどでもその話題が多かったと思います。3年生は最後の追い込みに向けて学習に励むとともに、1月4日に学力テストを実施するなど、年末年始をゆっくり過ごす気分ではなかったかも知れません。



始業式後の3学期の抱負の発表

平成31年は日本の社会にとっても大きな節目の年となります。5月には皇太子が新天皇として即位し、元号(年号)が変わります。4月1日に新元号が発表されると報道されました。どのような元号になるのか、楽しみでもあります。新天皇が即位する5月1日(水)は祝日となり、4月27日(土)から5月6日(月)までは10連休となります。また、「亥年選挙」と言われる参議院選挙と統一地方選挙が同時に行われる年でもあります。

学校教育の場面で見てみると、全国学力・学習状況調査の出題形式が変更となって実施されます(4/18木)。これに合わせる形で、県版学力テストが新方式で実施されます(4/11木、1・2年生で実施)。最も大きな変更は、高校入試です。今年度まで行われてきたI期・II期・III期選抜の方式から、前期・後期の選抜に変わります(詳細は適宜、お知らせしていきます)。

このように、2019年(平成31年と〇〇元年)は大きな転換の年となります。自分を取り巻く状況が大きく変わっても、私たちが取り組むことの柱は変わりません。まずは、心身ともに健康で元気に過ごすこと、授業や家庭学習に粘り強く取り組むこと、部活動や係活動、学校行事に積極的に取り組むこと。これらを通して、また一步成長する一年にしていきたいと思えます。保護者の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

<高校入試の本番到来>

平成31年の始まりとともに、3年生の高校入試も本番を迎えています。今週は、東日本国際大学附属昌平高校(1/9水)、磐城第一高校(1/10木)で試験が実施され、福島高専推薦選抜は明日12日(土)に実施されます。

来週はいわき秀英高校入試が行われるとともに、上記の高校の合格発表があります。これらを受けて、希望する保護者・生徒を対象に三者教育相談を行います。その後は、県立I期選抜入試(1/31木~2/1金)、県立II期選抜出願(2/13水~18月)、県立II期選抜出願先変更(2/19火~21木)、県立II期選抜入試(3/7木)となります。

<県立I期選抜に向けた3年生の部活動について>

今月の31日(木)と2月1日(金)に、県立高校のI期選抜試験が実施されます。I期選抜では、入学後に入部を希望する部活動について、実技試験を実施する学校もあります。そこで、I期選抜に向けた準備として、現在、1・2年生を中心に活動している部活動に、I期選抜で実技試験を受ける3年生を一時的に参加させることにしています。対象となる部活動等は次の通りとなります。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

[対象となる部活動と3年生参加人数]

野球部(4名)、バスケ部(1名)、バドミントン部(1名)、ハンド部(6名)
吹奏楽部(3名)

[活動に参加する期間] 1月10日(木)~1月29日(火) ※ノ一部活デーは除く

◇各部の練習メニューに応じた活動内容となり、顧問の指示に従って活動することになります。(個人で勝手に活動することはできません)

◇活動に参加するにあたっては、保護者の了解が必要となります。また、面接指導がある場合は、そちらが優先となります。

<次年度の教育課程の編成を開始>

昨年末から平成31年度の教育課程の編成作業を行っています。1月からは、昨年末に実施した教職員の自己評価及び保護者・生徒の皆さんのアンケート結果を踏まえながら、今年度の教育活動を振り返り、成果と課題、改善点などの検討を行っています。

全体会や各検討委員会に分かれて4～5回の話し合いを実施し、来年度の教育課程を編成していきます。次年度、新しく行う教育活動（芸術家によるミニコンサート・楽器指導）や10連休に伴う土曜授業の実施など、今年度にはなかったこともあります。また、今年度の実施を踏まえて、工夫・改善するものもあります。学校の中心である授業については「学びのスタンダード推進事業」のまとめの年（3年目）となりますので、今までの取り組みをさらに充実させて、学力向上に結び付けていきたいと思ひます。

<インフルエンザ等の感染症に注意>

平成31年が始まると同時に、福島県内全域でインフルエンザの流行が始まり、1月7日段階で、市内では57名の感染との新聞報道がありました。小川中でも、冬休みにインフルエンザに感染した生徒がいました。

今週に入り感染の拡大が見られ、市内では感染者が100名を超えました。1週間で約2倍に拡大したことになります。小川中でも新たに感染した生徒も出てきています。これから増えていくことも考えられます。できる限り予防接種をすることが有効ですが、手洗いやうがい、マスク着用なども予防にとっては重要です。また、人混みを避ける、室内の換気と保湿、十分な睡眠と栄養バランスの取れた食事なども効果があります。

インフルエンザ以外にも、感染性胃腸炎や溶連菌感染症も見られます。これらの感染症予防についても、基本的な予防方法はインフルエンザと同じです。感染が広がらないようにするためには、予防方法をしっかり実践することが大切です。また、具合が思わしくない時は無理して登校せず、家で休養を取ったり、医療機関を受診したりすることも大切です。

1年間のまとめ、そして、3年生にとっては進路決定となる3学期、感染の広がりによって学校での活動に支障が出ないよう、お互いに注意して生活していくことが大切です。

【インフルエンザ予防接種の効果】

現在、インフルエンザワクチンはA型2株、B型1株の3種類を混合したものがつくられています。毎年、どの株にするかは、まずWHO（世界保健機関）や国立感染症研究所が世界各地でインフルエンザウイルスの定点観測を行い、その年の流行株を予測しています。そして、これらの流行予測株の中から増殖性、免疫原性などを検討し、血清疫学データとあわせて、その年のワクチン候補株が選ばれ、厚生労働省が最終的に決定しています。

国立感染症研究所によると、このWHOを中心とした世界規模でのウイルス監視に基づく予測は精度が高く、近年「抗原性の不一致でワクチンが効かなかった」という事態は、ほとんど起きていないとしています。厚生労働省は、国内で用いられている不活化のインフルエンザワクチンは、感染を完全に阻止する効果はないが、インフルエンザの発症を予防すること、発症後の重症化や死亡を予防することに関しては、一定の効果があるとしています。



1/9（水）には、雪が舞いました

校地西側の田には、白鳥が飛来しています

来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
1月14日	月	△	成人の日
1月15日	火	○	カウンセラー来校 磐城一高合格発表
1月16日	水	○	ノ一部活デー いわき秀英高校入試
1月17日	木	○	新入生説明会 福島高専推薦選抜内定通知
1月18日	金	○	三者教育相談（3年生の希望者）
1月19日	土	△	いわき総合バスケットボール大会
1月20日	日	△	小川町町内一周駅伝競走大会 いわき総合バスケットボール大会